

# 生き方お洒落人

おしゃれとは、外見上のことだけでなく、人の生き方そのものといえるでしょう。ご自身の夢に向かい、毎日をいきいきと生き、輝いている4人をご紹介します。

## 生き方お洒落人①

### 念願の教員試験に合格、 英語教師として新たな一歩を踏み出す

永安英美子さん (51歳)



2007年に年齢制限が撤廃された横浜市の教員採用試験に、先日、2度目の挑戦で合格。来春、新人教員として中学校に赴任することが決まっている永安英美子さん。

「15年前、夫の仕事でアメリカに住んでいたときのこと。長男を通わせていた幼稚園には、いきいきと仕事をしている年配の女性教師がたくさんいてビックリ!」。

幼児教育の知識だけでなく、子育てや人生の経験をもとに子どもに接する先生を見て、「子どもたちに英語を教える仕事に就きたい」という夢を膨らませて帰国。子育てが一段落した91年、42歳で子ども向け英語教室を立ち上げました。

その後、教室の生徒数も増え、経営も軌道に乗り始めると、今度は、英語講師としての資質向上と教員免許の再取得を目指し、45歳で大学に編入学。「前例がないなら自分が前例になる!」と、多くの困難を乗り越え、見事教員免許を再取得。私立高等学校の非常勤講師として念願の教壇に立ちました。

現在は、横浜市中学校の非常勤講師を務める傍ら、小学校英語活動のボランティアとして、2つの小学校に関わっています。

「50歳を過ぎて中学校の先生になるなんて…」という周囲の声もありますが、「夢に年齢は関係ない」と、前向きに生きる姿勢が若さの秘訣。「元気の源は、子どもたちからもらうエネルギー」と、歌手の小田和正さん。次なる夢は、「客船・飛鳥IIでの世界一周の旅」だそうです。